

平成 23 年度 第 2 回石狩市行政評価委員会

日時：平成 23 年 5 月 26 日（木） 10 時 00 分～

場所：市役所 3 階 庁議室

企画經濟部 企画課

【会議次第】

1 開 会

2 議 題

(1) 施策「公共交通環境の充実」の状況について

(2) 施策「情報通信網の整備」の状況について

4 その他

5 閉 会

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	市民生活部
めざすまちのテーマ等	1 安全・安心・快適なまち		職名	部長
施策項目	(3)公共交通環境の充実		氏名	大林 啓二
			TEL	72-3247

【1 施策の目的】

公共交通環境をより充実させることにより、快適で便利な暮らしを送ることができるまちをめざす。

【2 計画策定時の状況】

市内で唯一の公共交通機関である路線バスは、市民の身近な足として生活に欠かすことのできないものとなっているものの、近年、利用者数が減少傾向にあり、採算面で厳しい路線が次々に廃止されるなどの動きが出ていることから、交通空白地域を生まないようにするための対応が求められている。軌道系交通として検討を進めてきた「モノレール」などの導入については、近年の人口増加の鈍化や、国・地方自治体における財政環境の急激な悪化など様々な要因もあり、事業化の見通しは立っていないものの、本市のまちづくりの方向性を大きく左右することから、引き続き、導入の検討が必要である。

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	市内バス路線数					路線	22	22
指標2	路線バスの利用が便利と感じる市民の割合					%	41.1	↗
指標3								
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に対する達成状況		H17実績値との比較
指標1	21	21	21	21	21	×		×
指標2	41.1	41.6	45.8	39.9	36.1	×		×
指標3								
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【4 現状把握と今後の方向性】

(1)現状の評価と課題

市内バス路線数は、近年の急速な少子高齢化に伴う中高生の利用の減少、更には団塊世代の退職や核家族化による若年稼働世帯の流出(転出)等による減少から、今後バス事業者においても事業の採算面から路線の更なる縮小も懸念される中で、現実的な対応として現状の路線数を維持していくことが肝要であり、目標達成は極めて厳しい状況にある。今後は、行政、事業者、利用者(市民)がそれぞれの役割と責務を認識し、一体となって取組みを進めていくことが必要である。一方、路線バスの利便性については、利用者数は減少傾向にあるものの、周辺環境整備はもとより、老朽化するバス待合所の計画的な補修等を行うなど、市民の満足度を高めていく必要がある。

(2)施策を取りまく状況の変化(社会環境の変化、住民、議会等からの要望等)

近年の少子高齢、人口減少時代にあつて、特に過疎化が著しい浜益区における市民の足の確保は大きな課題であつたが、平成18年度まで浜益区内全域をバス運行していた事業者(空知中央バス)が、赤字により撤退することになったため、市は市民要望を踏まえ、平成19年よりスクールバスとの一般混乗をはじめ、浜益滝川間乗合自動車運行事業、更には札幌浜益線を運行する事業者(北海道中央バス)に対し、欠損額の1/2(限度額300万円)を補助するなど、地域住民の交通手段の維持・確保に努力している。

(3)今後の取り組み方針(改善・改革の方向性)

今後は急速な高齢化の進展に伴い、公共交通の利便性の確保が更に重要となつており、過疎と市街地における交通体系の在り方と併せて、市内バス交通体系についても、行政、事業者、利用者(市民)がそれぞれの役割と責務を踏まえ、中期的かつ総合的な視点から検討が必要である。

【5 パブリックコメント】

--

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
(2)今後の方向性に関する意見
(3)施策等に関する評価意見

【7 行政評価会議（最終評価）】

(1)重点的に取り組む事項(新に取り組む事業、規模拡大を図る事業等)
(2)見直しすべき事項(廃止、縮小、統合、改善を図る事業等)
(3)その他特記事項

施策名 公共交通環境の充実

	人件費	事業費	総コスト
平成22年度施策コスト	12,804	13,382	26,186 千円

市民一人あたり
429 円

施策の体系	事業名	担当課	H22決算					現状の課題 (課長評価1次)	今後の方向性 (課長評価1次)
			人工 (関係課含 む)	特定財源		事業費計			
				うち地方債	一般財源				
①バス交通の維持・充実									
1	地域生活バス路線運行対策事業	市民生活課	0.13	-	-	3,000	3,000	既に当初見込み(600万円)を超える赤字額となっている。	地域住民と路線存続へ向けた取組みを検討していく。
2	浜益滝川間乗合自動車運行事業	市民生活課	0.45	3,000	-	2,419	5,419	利用者数の維持。	利用者の増へ向けたPRを検討する。
3	スクールバス混乗事業	市民生活課	0.38	1,698	-	2,269	3,967	・地区により利用者数が減少している。 ・運行時間が制約される。	厚田区の混乗事業については、過疎地有償運送事業との連携に向けた検証を行う。
4	バス路線関係業務	市民生活課	0.24	-	-	996	996	老朽化したバス待合所の修繕	バス事業者・町内会との連携をさらに密にし、計画的な修繕の実施。
②軌道系交通機関導入の検討									
5	【再掲】 総合交通体系業務	企画課					-		
③その他									
6	総合交通体系業務	企画課	0.05	-	-	-	-	・「都市交通MP」で公共交通維持の更なる困難性の指摘。 ・市の交通体系は札幌市の動向に左右される。	北海道、札幌市の交通担当者と適宜情報交換を行う。
7	ライフサポート組織育成支援業務	厚田地域振興課	0.15	-	-	-	-	計画的なサポーターの加入促進	新規サポーターの加入促進を進める。
8							-		
9							-		
10							-		
11							-		
12							-		
13							-		
14							-		
15							-		
16							-		
17							-		
18							-		
19							-		
20							-		
合計			1.40	4,698	-	8,684	13,382		

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	1 - 1	事業名	地域生活バス路線運行対策事業								
総合計画	マ	1	安全・安心・快適なまち								
	策	3	公共交通環境の充実								
	策(小)	1	バス交通の維持・充実								
平成23年度担当	所管	市民生活部	市民生活課	課長	廣長 秀和	担当	齊藤 晶	電話	72-3191	内線	377
平成22年度担当	所管	市民生活部	市民生活課	課長	新岡 研一郎	担当	齊藤 晶				
予算科目	会計	一般会計 (2款3項1目)			事業名	札幌浜益線運行費補助金					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等	道路運送法、石狩支庁生活交通確保対策協議会設置要綱、石狩市札幌浜益線運行費補助金交付規則										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 21 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	浜益区の住民	→	対象数 1,800 人
	札幌浜益線沿線の住民	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	地域住民の生活に必要なバス路線である札幌浜益線(札幌ターミナルから浜益区幌までの区間)の維持確保を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	札幌浜益線を運行する北海道中央バス(株)に対し、1年間(毎年10月1日から翌年9月30日まで)の札幌浜益線の運行欠損額の2分の1に相当する額(上限300万円)の補助金を交付する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	生活バス路線では、収支率55%を下回る場合には、国庫補助対象路線から外れることとなるが、札幌浜益線が、国庫補助対象路線から外れる見込みとなったため、平成20年度に補助制度を創設した。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
<ul style="list-style-type: none"> ・浜益区住民は路線の存続を希望している。(H20.8.12住民説明会開催:北海道中央バス(株)主催) ・浜益区自治会長会議にて、バスの利用を区民に促す事を確認された。 ・北海道中央バス(株)から、今後の収支状況によっては再度協議を申し入れることもある旨確認している。 			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円		1,500	3,000	3,000
	小計(A)	千円	0	1,500	3,000	3,000
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.10	0.13	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	0	915	1,189	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	0	915	1,189	
総コスト(A)+(B)		千円	0	2,415	4,189	

事業費の用途等	補助金:3,000千円
---------	-------------

指標名		単位	項目	H20	H21	H22	H23	
活動指標	路線の運行本数(1日)	往復	目標値		1	1	1	
			実績値		1	1		
			達成率		100.0	100.0		
	目標:事業計画		目標値					
			実績値					
			達成率					
			目標値					
			実績値					
			達成率					
	指標名		単位	項目	H20	H21	H22	H23
	成果指標	年間乗車数(浜益区間)	人	目標値		25,800	25,800	25,800
				実績値		20,589	20,433	
達成率					79.8	79.2		
目標:H19年時点の乗車数(浜益区)			目標値					
			実績値					
			達成率					
			目標値					
			実績値					
			達成率					

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	<input type="radio"/> 達成 <input checked="" type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い	地域の交通手段として必要で補助金がなければ路線廃止となり、新たな交通手段が必要となる。
	成果の向上余地	<input type="radio"/> かなりある <input checked="" type="radio"/> 多少ある <input type="radio"/> さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない	
現状の課題		赤字欠損額の1/2に相当する額(300万円を上限)を交付しているが、既に当初見込み(600万円)を超える赤字額となっている。				
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行通り <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他 地域住民と路線存続へ向けた取組みを検討していく。				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input checked="" type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他 今後も現行の事業費の維持に努めるが、利用者の更なる減少や運行コストの増加など、補助金の増額等が見込まれる。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長	
有効性	市民意見等に対する回答	反映 一部反映 不採用 実施済み 参考	
	事業の成果についての検証	<input type="radio"/> 達成 <input checked="" type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性 費用対効果の視点での検証 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い
現状の課題	施策への貢献度からみた優先度	<input type="radio"/> 極めて高い <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 高くない	妥当性 事業を縮小・廃止した場合の影響 <input type="radio"/> 大きい <input checked="" type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 増加 <input type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他	

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	1 - 2	事業名	浜益滝川間乗合自動車運行事業								
総合計画	マ	1	安全・安心・快適なまち								
	策	3	公共交通環境の充実								
	策(小)	1	バス交通の維持・充実								
平成23年度担当	所管	市民生活部 市民生活課	課長	廣長 秀和	担当	齊藤 晶	電話	72-3191	内線	377	
平成22年度担当	所管	市民生活部 市民生活課	課長	新岡 研一郎	担当	齊藤 晶					
予算科目	会計	一般会計 (2款 3項 1目)			事業名	市有自動車運送等事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等	道路運送法、地域公共交通会議設置要綱、市有自動車運送事業の設置及び運営に関する条例										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 19 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	浜益区住民及び新十津川町幌加地区の住民	→	対象数 2,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	浜益区・幌加地区の住民生活に必要な交通手段を確保する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
浜益区と滝川市を結ぶ路線として、ワゴン車にて1日1往復、当日午前7時30分までに予約があった方を対象に有償(一般850円~2,000円)で運送する。【運行日:平日(土・日・祝祭日・年末年始除く)】 ※運送にあたっては、「北星交通(株)」へ委託 ※事業実施にあたっては、石狩市、札幌運輸支局ら10名以内で構成される「石狩市地域公共交通会議」での合意を得て、北海道運輸局札幌運輸支局へ路線登録を行なう。			
④事業実施の背景・個別計画等			
平成18年度までは「空知中央バス(滝川市)」が浜益区内全域をバス運行していたが、赤字により撤退することとなったため、市が市有自動車により、地域住民の交通手段を確保することとした。			
⑤この事業に対するの関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
浜益区唯一のタクシー事業者である浜益交通運輸(有)からは、乗客の競合が生じないよう要望が出されている。(地域公共交通会議)			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	2,732	2,947	3,000	2,808
	一般財源	千円	4,584	5,017	2,419	2,882
	小計(A)	千円	7,316	7,964	5,419	5,690
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.70	0.20	0.20	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員(浜)市民生活課)	人	0.20	0.20	0.25	
	従事正職員の人件費	千円	7,979	3,546	4,116	浜益滝川間乗合自動車利用料
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	7,979	3,546	4,116	
総コスト(A)+(B)		千円	15,295	11,510	9,535	

事業費の用途等	・民間事業者への運行委託料 5,185千円 ・その他維持管理費 234千円
---------	------------------------------------------

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	活動指標	登録路線数(浜益滝川間)	路線	目標値	1	1	1
実績値				1	1	1	
達成率				100.0	100.0	100.0	
運行日数		日	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	243	242	251	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	利用者延人数(浜益区)	人	目標値	2,673	2,662	2,772	2,550
実績値			2,440	2,585	2,551		
達成率			91.3	97.1	92.0		
目標値							
実績値							
達成率							
目標:事業計画							

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い	地域住民の交通手段を確保するため、最低限の委託費で運行している。
	成果の向上余地	<input type="radio"/> かなりある <input type="radio"/> 多少ある <input checked="" type="radio"/> さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない	
現状の課題		利用者数とコストの関係があり、利用者数を維持していかなければならない。				
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他 乗客が固定されている状況にあるため、利用者の増へに向けたPRを検討する。				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input checked="" type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他 利用料の確保に努め、引続き最低限の委託費で運行していく。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長				
有効性	事業の成果についての検証	<input type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い	
	施策への貢献度からみた優先度	<input type="radio"/> 極めて高い <input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 高くない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	1 - 3	事業名	スクールバス混乗事業								
総合計画	マ	1	安全・安心・快適なまち								
	策	3	公共交通環境の充実								
	策(小)	1	バス交通の維持・充実								
平成23年度担当	所管	市民生活部	市民生活課	課長	廣長 秀和	担当	斉藤 晶	電話	72-3191	内線	377
平成22年度担当	所管	市民生活部	市民生活課	課長	新岡 研一郎	担当	斉藤 晶				
予算科目	会計	一般会計 (2款3項1目)			事業名	スクールバス混乗事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等	道路運送法、石狩市地域公共交通会議設置要綱、石狩市スクールバスの有償利用に関する要綱										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 19 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	厚田区及び浜益区の住民	→	対象数 4,300 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	厚田区及び浜益区の住民生活に必要な交通手段を確保する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
厚田区(1路線 発足線)及び浜益区(7路線 全浜益区)のスクールバスに、有償(一般200円、障がい者・高校生100円)で混乗できるようにする。【運行日:平日(土・日・祝祭日・年末年始除く)】 ※事業実施にあたっては、石狩市、札幌運輸支局ら10名以内で構成される「石狩市地域公共交通会議」での合意を得て、北海道運輸局札幌運輸支局へ路線登録を行なう。			
④事業実施の背景・個別計画等			
平成18年度までは「空知中央バス(滝川市)」が浜益区内全域をバス運行していたが、赤字により撤退することとなったため、市がスクールバスとの一般混乗により、地域住民の交通手段を確保することとした。			
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
発足線スクールバス混乗における新たな回数券発行の要望があった。(発足地区地域意見交換会)			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
新たに「100円」単位の回数券を発行した。			

事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		国庫支出金	千円			
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円		1,745	2,947	1,698	1,406
一般財源	千円		2,267	2,495	2,269	2,806
小計(A)	千円		4,012	5,442	3,967	4,212
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.70	0.10	0.13	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員(両支所市民生活課)	人	0.25	0.25	0.25	
	従事正職員の人件費	千円	8,422	3,202	3,476	
	その他間接経費	千円				スクールバス混乗利用料
	小計(B)	千円	8,422	3,202	3,476	
総コスト(A)+(B)	千円		12,434	8,644	7,443	

事業費の用途等	・厚田発足スクールバス混乗分 1,029千円 ・浜益スクールバス混乗分 2,623千円 ・その他維持管理費 315千円
---------	-------------------------------------------------------------------

1 - 3 スクールバス混乗事業

指標名		単位	項目	H20	H21	H22	H23
活動指標	登録路線数(厚田区)	路線	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	登録路線数(浜益区)	路線	目標値	7	7	7	7
			実績値	7	7	7	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
指標名		単位	項目	H20	H21	H22	H23
成果指標	一般利用者延人数(厚田区)	人	目標値	1,320	950	950	950
			実績値	866	796	1,066	
			達成率	65.6	83.8	112.2	
	一般利用者延人数(浜益区)	人	目標値	9,480	9,300	9,300	9,300
			実績値	11,028	8,682	7,490	
			達成率	116.3	93.4	80.5	
	目標:予算措置数		目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い	地域の交通手段確保のため、最低限の委託費で運行している。
	成果の向上余地	<input type="radio"/> かなりある <input type="radio"/> 多少ある <input checked="" type="radio"/> さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない	
現状の課題		・地区により利用者数が減少している。 ・スクールバスを利用しているため運行時間が制約される。				
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他 引続き、現行通り実施するが、厚田区での混乗事業については、「あつたライフサポートの会」が行う過疎地有償運送事業との連携に向けた検証を行う。				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input checked="" type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他 意見交換会等を通し、利用促進のPRや利用状況を認識してもらい、スクールバス混乗の利用者増に努める。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長			
市民意見等に対する回答	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考				
	事業の成果についての検証	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い
有効性	施策への貢献度からみた優先度	<input type="radio"/> 極めて高い <input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 高くない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない
	現状の課題				
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他			
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他			

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	1 - 4	事業名	バス路線関係業務								
総合計画	マ	1	安全・安心・快適なまち								
	策	3	公共交通環境の充実								
	策(小)	1	バス交通の維持・充実								
平成23年度担当	所管	市民生活部	市民生活課	課長	廣長 秀和	担当	齊藤 晶	電話	72-3191	内線	377
平成22年度担当	所管	市民生活部	市民生活課	課長	新岡 研一郎	担当	齊藤 晶				
予算科目	会計	一般会計 (2款 5項 1目)			事業名	バス待合所等管理費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 不明 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	バス利用者	→	対象数 不詳
	バス待合所	→	対象数 92 箇所
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の利便性の向上を図る ・バス路線の維持確保 		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・バス待合所の維持管理は、市・バス事業者・町内会と分担して行っている。 ・バス事業者との路線に関する協議を行う。 		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	市内に約90箇所のバス待合所が設置されている。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
バス利用者からのバス停移動に関する要望があった。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	977	1,008	996	1,044
	小計(A)	千円	977	1,008	996	1,044
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.14	0.14	0.14	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員(両支所市民生活課)	人	0.10	0.10	0.10	
	従事正職員の人件費	千円	2,128	2,195	2,195	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	2,128	2,195	2,195	
総コスト(A)+(B)		千円	3,105	3,203	3,191	

事業費の用途等	<ul style="list-style-type: none"> ・バス待合所修繕料 200千円 ・維持管理費 796千円
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------

1 - 4 バス路線関係業務

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	活動指標	バス待合所修繕箇所数	箇所	目標値	未設定	未設定	未設定
実績値				4	5	4	
達成率							
バス待合所清掃箇所数		箇所	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
目標: 予算措置数		目標値					
		実績値					
		達成率					

成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	成果指標	路線バスの利用が便利と感じる市民の割合	%	目標値	41.1	41.1	41.1
実績値				45.8	39.9	36.1	
達成率				111.4	97.1	87.8	
市内バス路線数		路線	目標値	22	22	22	22
			実績値	21	21	21	
			達成率	95.5	95.5	95.5	
目標: 総合計画		目標値					
		実績値					
		達成率					

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い	費用対効果の視点での検証	<input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない	最小限の事業費で利用者の利便性に貢献している。
	成果の向上余地	<input type="radio"/> かなりある <input type="radio"/> 多少ある <input checked="" type="radio"/> さほどない	妥当性 <input checked="" type="radio"/> 事業を縮小・廃止した場合の影響			バス路線の維持確保に支障が生じる。
現状の課題		老朽化したバス待合所の修繕が必要である。				
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他 バス事業者・町内会との連携をさらに密にし、計画的な修繕を実施する。				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input checked="" type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他 引き続き必要最小限の修繕を実施し、コスト増の抑制を図る。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長				
有効性	市民意見等に対する回答	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考				
	事業の成果についての検証	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い	費用対効果の視点での検証	<input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない	
今後の方向性	施策への貢献度からみた優先度	<input type="radio"/> 極めて高い <input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 高くない	妥当性 <input type="radio"/> 事業を縮小・廃止した場合の影響			
	現状の課題					
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	1 - 5	事業名	総合交通体系業務							
総合計画	マ	1	安全・安心・快適なまち				1	安全・安心・快適なまち		
	策	3	公共交通環境の充実				3	公共交通環境の充実		
	策(小)	3	その他				2	軌道系交通機関導入の検討		
平成23年度担当	所管	企画経済部 企画課	課長	松田 裕	担当	森本 栄樹	電話	72-3161	内線	362
平成22年度担当	所管	企画経済部 企画課	課長	松田 裕	担当	中西 章司				
予算科目	会計	一般会計 (2款3項1目)				事業名	企画調整事務費			
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	道路運送法、過疎地有償運送運営協議会設置要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 不明 年度 ~ 永続 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	全市民	→	対象数 61,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通ネットワークの維持向上を図る ・公共交通機関の利便性の向上を図る ・移動制約者の交通手段の確保を図る 		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・H22.3に策定された「道央都市圏の都市交通マスタープラン」を踏まえた交通戦略を検討する(軌道系交通機関の導入検討等) ・過疎地域(厚田区)において、NPO法人が行う有償運送サービスの実施に際して必要となる「過疎地有償運送運営協議会」の運営を行う。 (過疎地有償運送運営協議会委員:石狩市、札幌運輸支局、地域住民の代表ら10名以内で構成) ※「あつたライフサポート組織育成事業:厚田支所」参照 		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市交通マスタープラン」は、おおよそ20年後の望ましい交通体系の姿として実現を目指す骨格交通網や取り組むべき各種の施策を取りまとめている。 ・「あつたライフサポートの会」のH22年度過疎地有償運送事業開始に伴い、道路運送法に基づく協議会をH21.12に設置した。 		
	⑤この事業に対するの関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
<ul style="list-style-type: none"> ・議会並びに市民から軌道系交通機関の延伸について要望が出されている ・過疎、高齢化に伴い移動制約者に対するモビリティの確保が懸念されている 			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	0	17	0	26
	小計(A)	千円	0	17	0	26
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.60	0.60	0.05	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	5,319	5,488	457	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	5,319	5,488	457	
総コスト(A)+(B)		千円	5,319	5,505	457	

事業費の用途等	
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	道・札幌市・交通事業者との協議回数	道・札幌市・交通事業者との協議回数	回	目標値	未設定	未設定	未設定
実績値				10	7	4	
達成率							
石狩市過疎地有償運送運営協議会		回	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		1	0	
			達成率				
目標:予算措置			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23	
	過疎地有償運送年間利用者数	過疎地有償運送年間利用者数	人	目標値	0	900	1,000	700
実績値				0	954	650		
達成率					106.0	65.0		
目標:事業者設定数				目標値				
				実績値				
				達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	達成 ● 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	高い ● 概ね効率的 低い	コスト負担が小さく非効率な取り組みとまでは言えない。
	成果の向上余地	かなりある ● 多少ある さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	
現状の課題		・H22.3策定の「都市交通マスタープラン」では将来的な交通量の減少と公共交通維持の更なる困難性が指摘されている。 ・市の交通体系は札幌市の動向に左右されるため、現在検討されている「札幌市総合交通計画策定委員会」の動向を注視する必要がある。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 北海道、札幌市の交通担当者と適宜情報交換を行う。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 当面は事業コストをかけずに対応し、圏域市町村の動きも踏まえ事業化の可能性が変化した際は必要な予算措置を講じる。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長				
有効性	事業の成果についての検証	達成 ● 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	高い ● 概ね効率的 低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い 高い 高くない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい 小さい ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	1 - 6	事業名	ライフサポート組織育成支援業務								
総合計画	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち	1	安全・安心・快適なまち						
	策	5	地域福祉の充実	3	公共交通環境の充実						
	(小)	2	団体などへの活動支援と福祉ネットワークの形成	3	その他						
平成23年度担当	所管	厚田支所 地域振興課	課長	高田 靖仁	担当	栗谷 幸介	電話	78-2012	内線	124	
平成22年度担当	所管	厚田支所 地域振興課	課長	池 垣 旬	担当	高田 靖仁					
予算科目	会計	一般会計 (2 款 3 項 1 目)			事業名	有償運送等活動支援事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 20 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	あつたライフサポートの会	→ 対象数 1 組織
	厚田区民	→ 対象数 2,500 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)	
	NPO法人あつたライフサポートの会の活動により、地域における日常生活の課題解決を図る。	
	→ 成果指標	
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)	
	「NPO法人あつたライフサポートの会」の活動内容 【移送事業】・運送区域～厚田区内 ・運送先～利用者の居宅から最寄りのバス停留所、最寄りの集会施設及び高齢者福祉施設まで ・料金～厚田地区タクシー料金の半額を上限とし、キロ単位で設定 【除雪事業】・除雪範囲～玄関前から公道までの除雪 ・料金～1時間迄1,200円(以降30分毎に600円を加算) 【サポートを受けるまで】入会手続きを行い会員(年会費1,000円)となる。会へサポート依頼日、依頼内容を伝える。	
	④事業実施の背景・個別計画等	
	・H18年地域協議会へ提案し、H20年に「ライフサポートの会発起人会」を立上げ。 ・H21年NPO法人取得(無償運送事業開始)し、翌H22年度に過疎地有償運送許可取得(有償運送事業開始)し実施。	
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
利用者からは好評であり、事業項目の拡大が望まれている(草刈り事業)		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
・国の許可を取得し過疎地有償運送事業を実施 ・定期的に会議を開催し、課題・改善点の抽出に努めた。		

		単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	0	583	0	0
		小計(A)	千円	0	583	0	0
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.25	0.15	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	0	2,216	1,372	
その他間接経費		千円					
小計(B)		千円	0	2,216	1,372		
総コスト(A)+(B)		千円	0	2,799	1,372		

事業費の用途等	
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	活動指標	移送事業 目標:会の事業計画	人	目標値		900	1,000
実績値					954	650	
達成率					106.0	65.0	
除雪事業 目標:会の事業計画		件	目標値		3	5	10
			実績値		1	8	
			達成率		33.3	160.0	
会議の開催	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	
		実績値	18	17	12		
		達成率					

成果指標	指標名	単位		H20	H21	H22	H23
	成果指標	会員数(利用者)	人	目標値		未設定	未設定
実績値					38	47	
達成率							
会員数(サポーター)		人	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		17	17	
			達成率				
会員数(賛助会員)		人	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		23	23	
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 低い	徹底したコスト削減に努め、NPO法人の資金力で事業が成立している。
	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> ない	
現状の課題		年齢の高いサポーターも数名おり、計画的なサポーターの加入促進が必要。				
今後の方向性	事業内容	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 サポーターの加入促進に向けた候補者の選択と活動内容が理解でき共感して頂けるような事業展開を図り、新規サポーターの加入促進を進める。				
	事業コスト	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 予算なし <input type="checkbox"/> その他 引続き、事業予算は計上せずに会の支援を行う。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長	尾山忠洋		
市民意見等に対する回答		反映			
		一部反映			
		不採用			
		実施済み			
有効性	事業の成果についての検証	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 低い
	施策への貢献度からみた優先度	<input type="checkbox"/> 極めて高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 高くない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> ない
	現状の課題				
今後の方向性	事業内容	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他			
	事業コスト	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> 予算なし <input type="checkbox"/> その他			

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	総務部
めざまちのテーマ等	1 安全・安心・快適なまち		職名	部長
施策項目	(4)情報通信網の整備		氏名	川又 和雄
			TEL	72-3148

【1 施策の目的】

情報通信基盤の整備を促進し、情報化社会の変化に対応した、利便性の高いまちをめざす。

【2 計画策定時の状況】

情報ネットワーク社会の拡大が続く中、自治体においては、「電子自治体」の構築が進められている。今後は情報格差(域内デジタル・ディバイド)の解消など、情報通信技術の活用による市民サービスを行うための環境づくりが求められている。

【3 成果指標】

指標	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
	指標1	指標2	指標3	指標4	指標5			
指標1	ブロードバンドサービス世帯カバー率					%	89.0	↗
指標2	電子申請利用可能手続数					手続数	6	↗
指標3								
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況		H17実績値 との比較
指標1	93.8	94.9	96.2	96.2	96.2			108.1%
指標2	6	7	8	8	8			133.3%
指標3								
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【4 現状把握と今後の方向性】

(1)現状の評価と課題

「指標1」は、平成21年度予算(繰越事業)において、22年度末においてほぼ市域全体がカバーとなったものとする。
「指標2」は、電子申請手続き方法において、申請時に添付書類が必要となる場合や手数料が発生する場合もあることから、利便性の更なる向上のために方法を含めた各制度の見直しが行われなければ、今後においても実績値が横ばいで推移するものとする。

(2)施策を取りまく状況の変化(社会環境の変化、住民、議会等からの要望等)

「指標2」は、少子高齢化の到来、合併による遠隔となっている現状もあり、市役所サービス提供の内容、質について検討が必要な時期にもあるが、現状、市民や議会等からの要望は少ない。

(3)今後の取り組み方針(改善・改革の方向性)

行政事務の効率化や市民サービスの向上を図るため、情報通信技術環境の充実がひとつの鍵となることから、今後も当該施策に関連する事務事業については、継続実施していくものとする。

【5 パブリックコメント】

--

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
(2)今後の方向性に関する意見
(3)施策等に関する評価意見

【7 行政評価会議（最終評価）】

(1)重点的に取り組む事項(新に取り組む事業、規模拡大を図る事業等)
(2)見直しすべき事項(廃止、縮小、統合、改善を図る事業等)
(3)その他特記事項

施策名 情報通信網の整備

	人件費	事業費	総コスト
平成22年度施策コスト	6,951	921,894	928,845 千円

市民一人あたり
15,227 円

施策の体系	事業名	担当課	H22決算					現状の課題 (課長評価1次)	今後の方向性 (課長評価1次)
			人工 (関係課含む)	特定財源					
				うち地方債	一般財源	事業費計			
① 情報通信基盤の整備									
1	地域情報通信基盤整備事業	情報推進課	0.48	868,078	-	50,672	918,750	保守・管理について、突発的な修理対応等がある。	光ブロードバンド基盤と情報通信技術の活用による市民サービス向上の検討。
② 電子自治体の構築									
2	電子自治体推進事業	情報推進課	0.28	-	-	3,144	3,144	電子申請の手続数が伸びない。	簡易申請機能を利用した、市の独自活用を積極的に推し進める。
3							-		
4							-		
5							-		
6							-		
7							-		
8							-		
9							-		
10							-		
11							-		
12							-		
13							-		
14							-		
15							-		
16							-		
17							-		
18							-		
19							-		
20							-		
合計			0.76	868,078	-	53,816	921,894		

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	2 - 1	事業名	地域情報通信基盤整備事業									
総合計画	マ	1	安全・安心・快適なまち									
	策	4	情報通信網の整備									
	策(小)	1	情報通信基盤の整備									
平成23年度担当	所管	総務部 情報推進課	課長	椿原 功	担当	樋口 潤作	電話	72-3159	内線	332		
平成22年度担当	所管	総務部 情報推進課	課長	椿原 功	担当	樋口 潤作						
予算科目	会計	一般会計 (2款 1項 4目)				事業名	地域情報通信基盤整備事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)											
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他											
根拠法令、条例等												
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 21 年度 ~ 未定 年度											

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	厚田区や浜益区など、ブロードバンドサービスが提供されていない地域。	→	対象数 4,100 世帯
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	情報通信技術の導入・利活用を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	[市] 厚田区や浜益区など、市内の情報通信の条件不利地域を光ファイバーにて基盤整備を図り、その基盤の保守・管理を行う。 [事業者] 事業運営(光ブロードバンドサービスの提供)を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	<ul style="list-style-type: none"> 石狩市街地や花畔地区一部において、民間電気通信事業者による光ブロードバンドサービスが開始。 高岡地区、親船地区、望来地区、厚田地区にADSLサービスを誘致したが、ADSLは、交換ビルから4キロメートル程度しかカバーできない。 光ブロードバンドサービスは民間電気通信事業者の採算面での理由からエリア拡大が見込めない。 		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
<ul style="list-style-type: none"> 厚田区や浜益区在住の市民や企業からの要望。 石狩湾新港工業団地内にある新港東地区の工業団地の立地企業並びに誘致企業から、早期の光ブロードバンド化への要望。 			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
総務省「地域情報通信基盤整備推進交付金」等を活用し、情報通信の条件不利地域等をカバーするための光ファイバーの基盤整備を行った。			

事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		千円				868,078
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				10,042
	一般財源	千円			50,672	4,336
	小計(A)	千円	0	0	918,750	14,378
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.70	0.68	0.48	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				・地域情報通信基盤推
	従事正職員の人件費	千円	6,206	6,219	4,390	進交付金
	その他間接経費	千円				・地域活性化・公共投資
	小計(B)	千円	6,206	6,219	4,390	臨時交付金
総コスト(A)+(B)		千円	6,206	6,219	923,140	・民間電気通信事業者への貸付料収入

事業費の用途等	【委託料】 光ファイバー網の整備、調査設計等を含めた業務委託 918,750千円
---------	-------------------------------------------------------

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23	
	活動指標	光ブロードバンドサービス対応局舎数	箇所	目標値	7	7	7	7
実績値				2	2	7		
達成率				28.6	28.6	100.0		
				目標値				
				実績値				
				達成率				
			目標値					
			実績値					
			達成率					

成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23	
	成果指標	ブロードバンドサービス世帯カバー率	%	目標値	89.0	89.0	89.0	89.0
実績値				96.2	96.2	96.2		
達成率				108.1	108.1	108.1		
目標:市総合計画				目標値				
				実績値				
				達成率				
			目標値					
			実績値					
			達成率					

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成 ○ 概ね達成 ○ 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い ○ 概ね効率的 ○ 低い	ほぼ全域をカバーする基盤整備であり、国費等による9割強の経費充当、並びに、その運用を民間電気通信事業者が行うことから効率性は高い。
	成果の向上余地	○ かなりある ○ 多少ある ● さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい ○ 小さい ○ ない	
現状の課題		光ファイバーの基盤整備と保守・管理については、突発的な修理対応等がある。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ● その他 ・整備をした情報通信基盤を適正に維持・管理し、安定的に光ブロードバンドサービスを提供する。 ・光ブロードバンド基盤と情報通信技術(ICT)の活用による市民サービス向上の検討を図る。				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ● 減少 ○ 予算なし ○ その他 安定的に光ブロードバンドサービスを提供するために、光ファイバー網等に係る保守・管理等経費について、必要な予算措置を行う。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長		
市民意見等に対する回答	反映 一部反映 不採用 実施済み 参考			
	事業の成果についての検証	● 達成 ○ 概ね達成 ○ 達成していない	効率性 費用対効果の視点での検証	● 高い ○ 概ね効率的 ○ 低い
有効性	施策への貢献度からみた優先度	● 極めて高い ○ 高い ○ 高くない	妥当性 事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい ○ 小さい ○ ない
	現状の課題			
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他		
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他		

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	2 - 2	事業名	電子自治体推進事業									
総合計画	マ	1	安全・安心・快適なまち									
	策	4	情報通信網の整備									
	策(小)	2	電子自治体の構築									
平成23年度担当	所管	総務部 情報推進課	課長	椿原 功	担当	樋口 潤作	電話	72-3159	内線	332		
平成22年度担当	所管	総務部 情報推進課	課長	椿原 功	担当	樋口 潤作						
予算科目	会計	一般会計 (2款 1項 4目)				事業名	電子自治体推進事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 低い)											
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
根拠法令、条例等	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(IT基本法)											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 16 年度 ~ 未定 年度											

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)	
	・市民	→ 対象数 61,000人
	・法人	→ 対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標	
	ITを活用した市民等向け行政サービスの利便性の向上を図る。	
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標	
インターネット上の総合窓口で、住民や企業等から申請や届出等を受け付ける電子申請システムを北海道電子自治体プラットフォーム構想(HARP構想)に基づき北海道電子自治体共同運営協議会(HARP協議会/道内市町村で構成)で構築・運用を行う。 ・電子申請サービス 7手続(付記転出届、水道使用開始届、水道使用中止届、犬の登録事項変更届、要介護・要支援認定申請、介護保険受給資格証明書交付申請、公文書公開手続) ・簡易申請(ふるさと応援寄附、市民アンケート等)		
④事業実施の背景・個別計画等		
・総務省はIT基本法に基づき、平成14年6月に「共同アウトソーシング・電子自治体推進戦略」を発表。 ・この北海道版として、北海道が中心となり、「北海道電子自治体プラットフォーム構想」を取りまとめた。 ・平成16年9月に、道内市町村が参加のもと、「北海道電子自治体共同運営協議会(HARP協議会)」を設立。		
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
議会からは、国の大きな戦略のひとつであることから、事業を推進する方向性については、一定の理解をいただいております、住民PR等も含め、可能なものから順次、手続数を拡大するよう要望を受けている。		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
・電子申請システム機能の一つである簡易申請機能を利用し、市の独自活用(市民アンケートやイベント申込等の利用)を開始。 ・簡易申請機能の改善(携帯電話からの入力簡易化、QRコード作成機能追加、添付ファイル機能追加等)。		

事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		千円				
事業費	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	3,974	3,356	3,144	2,691
	小計(A)	千円	3,974	3,356	3,144	2,691
	正職員従事人数(担当課)	人	0.29	0.28	0.28	特定財源名及び補助率・充当率
人件費等	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	2,571	2,561	2,561	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	2,571	2,561	2,561	
	総コスト(A)+(B)	千円	6,545	5,917	5,705	

事業費の用途等	【委託料】	電子申請システム運用業務 3,134千円
	【負担金】	北海道電子自治体共同運営協議会 10千円

2 - 2 電子自治体推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23	
	活動指標	電子申請手続数	手続数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値				86	86	86		
達成率								
簡易申請(市独自活用)手続数		手続数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	
			実績値	1	3	3		
			達成率					
			目標値					
			実績値					
			達成率					
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23	
	電子申請利用可能手続数	手続数	目標値	6	6	6	6	
実績値			7	7	7			
達成率			116.7	116.7	116.7			
目標:市総合計画		電子申請受付数	受付数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	5	13	7	
				達成率				
簡易申請(市独自活用)受付数	受付数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定		
		実績値	1	352	53			
		達成率						

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	達成 ● 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	高い ● 概ね効率的 低い	HARP協議会の枠組みの中で、毎年、システム保守経費等の見直しを行っており、コスト削減の余地はある。
	成果の向上余地	かなりある ● 多少ある さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい ● 小さい ない	
現状の課題		電子申請においては、添付書類や手数料等の納付、あるいは、交付物の受領方法等について、複雑化するものもあり、手続数が伸びない要因にもなっている。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 ・現行事業を安定的に提供し、法の改正などにより行政手続の簡素化が図られたものについては電子申請利用を検討する。 ・簡易申請機能を利用した、市の独自活用を積極的に推し進める。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 ・システム運用保守経費について、必要な予算措置を行う。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長				
有効性	事業の成果についての検証	達成 ● 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	高い ● 概ね効率的 低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い ● 高い 高くない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい ● 小さい ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他				

--	--